

令和9年度

日本保健大学大学院

看護学研究科看護学専攻 修士課程

学生募集要項

日本保健大学大学院

看護学研究科

Nihon University of Health Sciences

Graduate School of Nursing

令和9年4月「岐阜保健大学大学院」より「日本保健大学大学院」へ名称変更。

日本保健大学 大学院看護学研究科看護学専攻 修士課程

I 建学の精神

命と向き合う心、知識、技を持った地域医療に貢献できる医療人の養成

II 教育理念

生命の尊厳と人権の尊重を基盤に看護職としての深い学識及び卓越した能力を養い、高度にして専門的な学術の理論及び応用を学修し、その深奥を深め健康課題への取り組みを通して社会貢献と文化の発展に寄与することを教育理念とする。

III 人材養成の目的

本研究科は、建学の精神である「命と向き合う心、知識、技を持った地域医療に貢献できる医療人の養成」を始発点として、看護の知識・技術を基盤に看護学における学識を深め、グローバルな視点で看護の問題解決や改善に取り組める科学的思考力と実践能力をもつ、倫理観の高い看護実践のリーダー・管理者・教育者として機能できる人材を養成することを目的とする。

IV 看護学研究科のアドミッション・ポリシー

日本保健大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程では、教育目的を理解し、本研究科への入学を希望する次のような学生を求める。

1. 看護実践力を高め社会貢献したいと考えている人
2. 看護実践を研究につなげる志を持っている人
3. 看護実践の質を高めたいと志向している人
4. 看護学研究コースは、医療チームの中で、多職種と連携し高度な専門的知識を発揮して、リーダーシップをとりたいと考えている人
5. 保健師コースは、地域のマネジメント力を高め、地域住民の健康増進に寄与したいと考えている人
6. 助産師コースは、母子の健康問題を診断し、地域の周産期医療チームのマネジメントを担いたいと考えている人

【看護学研究コース】

1. 看護学研究コースの人材養成像

- 1) 看護実践力を高めて社会貢献ができる人材
- 2) 看護実践を研究につなげてケアに活かすことができる人材
- 3) 看護実践の質を高めることができる人材
- 4) 保健医療福祉チームのなかで多職種と連携しリーダーシップを発揮できる人材

2. 看護学研究コースのカリキュラム・ポリシー

- 1) 教育課程は、研究科目、共通科目、専門科目の3科目区分から構成する。
- 2) 看護の質の向上に貢献するためのエビデンスに基づいた看護研究を推進する能力を身につけるため、「研究科目」をおく。
- 3) 看護研究の基盤となる知識と研究能力を身につけるため、「共通科目」の中に「専門基礎科目」と「関連科目」をおく。
- 4) 看護管理者・看護教育者・看護研究者として、多職種と連携し、高度な専門的知識と多様な視点を持ち、看護課題の解決に貢献できる実践力と研究能力を身につけるため、本研究科における2分野の専攻分野として、「専門科目」の中に、「広域看護学」領域と「実践看護学」領域をおく。

3. 看護学研究コースのディプロマ・ポリシー

- 1) エビデンスに基づいた研究能力を身につけ、看護の質の向上に貢献することができる。
- 2) 地域におけるケアと看護の質の改善に向けて、多職種や市民と協同することができる。
- 3) 高度な専門的知識と多様な視点を持ち、看護課題の解決に貢献できる実践力を身につけることができる。

【保健師コース】

1. 保健師コースの人材養成像

- 1) 統合された知識、技能、態度に基づき、根拠に基づいた公衆衛生看護専門職として役割を果たす人材
- 2) 社会的公正を活動の規範とし、地域・職場・学校での人々の健康な生活と Quality of Life の向上に貢献できる健康課題への対応能力をもった人材
- 3) 健康危機管理能力や健康課題対応能力を身につけるとともに、研究遂行能力をもった人材
- 4) 倫理的な意思決定能力を備え、地域に貢献できる豊かな人間性をもった人材

2. 保健師コースのカリキュラム・ポリシー

- 1) 教育課程は、研究科目、共通科目、専門科目、保健師コース専門科目の4科目区分から構成する。
- 2) 看護の質の向上に貢献するためのエビデンスに基づいた看護研究を推進する能力を身につけるため、「研究科目」をおく。
- 3) 看護研究の基盤となる知識と研究能力を身につけるため、「共通科目」の中に「看護科目群」と「周辺領域科目群」をおく。

- 4) 看護管理者・看護教育者・看護研究者として、多職種と連携し、高度な専門的知識と多様な視点を持ち、看護課題の解決に貢献できる実践力と研究能力を身につけるため、本研究科における 2 分野の専攻分野として、「専門科目」の中に、「広域看護学」領域と「実践看護学」領域をおく。
 - 5) 保健師として、健康問題や危機管理に対応でき、予防的視点から地域の保健医療と健康増進に貢献できる実践能力を身につけるため、「保健師コース専門科目」をおく。
3. 保健師コースのディプロマ・ポリシー
- 1) エビデンスに基づいた研究能力を身につけ、看護の質の向上に貢献することができる。
 - 2) 地域におけるケアと看護の質の改善に向けて、多職種や市民と協同することができる。
 - 3) 高度な専門的知識と多様な視点を持ち、看護課題の解決に貢献できる実践力を身につけることができる。
 - 4) 保健師として、健康問題や危機管理に対応でき、予防的視点から地域の保健医療と健康増進に貢献できる。

【助産師コース】

1. 助産師コースの人材養成像

- 1) 母性看護・助産学の領域で質の高い実践能力を備え、実践体制の改善や指導的役割を果たす人材
- 2) 基礎助産学や周産期医学の新知見を学び、女性のセルフケアや自己決定能力を支援できる人材
- 3) 生命の尊厳を基盤に高い倫理観をもち行動できる人材
- 4) 持続可能な行動目標に向かい、地域において母子保健の発展に貢献できる人間性豊かな人材

2. 助産師コースのカリキュラム・ポリシー

- 1) 教育課程は、研究科目、共通科目、専門科目、助産師コース専門科目の 4 科目区分から構成する。
- 2) 看護の質の向上に貢献するためのエビデンスに基づいた看護研究を推進する能力を身につけるため、「研究科目」をおく。
- 3) 看護研究の基盤となる知識と研究能力を身につけるため、「共通科目」の中に「看護科目群」と「周辺領域科目群」をおく。
- 4) 看護管理者・看護教育者・看護研究者として、多職種と連携し、高度な専門的知識と多様な視点を持ち、看護課題の解決に貢献できる実践力と研究能力を身につけるため、本研究科における 2 分野の専攻分野として、「専門科目」の中に、「広域看護学」領域と「実践看護学」領域をおく。
- 5) 助産師として、様々な母子の健康問題に対応でき、地域の周産期医療と母子保健に貢献できる実践能力を身につけるため、「助産師コース専門科目」をおく。

3. 助産師コースのディプロマ・ポリシー

- 1) エビデンスに基づいた研究能力を身につけ、看護の質の向上に貢献することができる。
- 2) 地域におけるケアと看護の質の改善に向けて、多職種や市民と協同することができる。
- 3) 高度な専門的知識と多様な視点を持ち、看護課題の解決に貢献できる実践力を身につけることができる。
- 4) 助産師として、様々な母子の健康問題に対応でき、地域の周産期医療と母子保健に貢献できる。

V 令和9年度大学院看護学研究科 入学者選抜試験日程

- ・ 各コースにおいて入学定員に達した場合、募集を終了し、予定している入学試験を実施しない場合があります。
- ・ 各コースにおいてⅢ期入試までに入学定員に達しない場合、追加日程で入学試験を実施する場合があります。
- ・ 本学の在学学生を対象とした、学内選考を別途実施します。

【Ⅰ期】

対象者	事項	日程
資格審査を必要とする者	資格審査申請期間	令和8年7月27日(月)～8月3日(月) 必着
	資格審査結果通知日	令和8年8月6日(木)
志願者全員	出願期間	令和8年8月17日(月)～8月26日(水) 必着
	試験日	令和8年8月30日(日)
	合格発表日	令和8年9月4日(金)
	入学手続締切日	令和8年9月14日(月)

【Ⅱ期】

対象者	事項	日程
資格審査を必要とする者	資格審査申請期間	令和8年11月2日(月)～11月9日(月) 必着
	資格審査結果通知日	令和8年11月12日(木)
志願者全員	出願期間	令和8年11月16日(月)～12月2日(水) 必着
	試験日	令和8年12月6日(日)
	合格発表日	令和8年12月11日(金)
	入学手続締切日	令和8年12月21日(月)

【Ⅲ期】

対象者	事項	日程
資格審査を必要とする者	資格審査申請期間	令和9年1月18日(月)～1月25日(月) 必着
	資格審査結果通知日	令和9年1月28日(木)
志願者全員	出願期間	令和9年2月1日(月)～2月18日(木) 必着
	試験日	令和9年2月21日(日)
	合格発表日	令和9年2月25日(木)
	入学手続締切日	令和9年3月5日(金)

VI 募集人員・募集コース

1. 募集人員

看護学研究科看護学専攻 13名 (修業年限 2年)

(内訳) 看護学研究コース 4名

保健師コース 5名

助産師コース 4名

※ 募集人員は、学内選考・一般選抜・社会人選抜の入学者を含みます。

※ 在職者が修学するなど、標準修業年限2年での教育課程が困難な学生を対象とする「長期履修制度」については、14ページを参照してください。

2. 募集するコース・分野・領域・学位取得モデル

コース	分野	学位取得モデル
看護学研究コース	広域看護学分野	看護学研究コース
	実践看護学分野	
保健師コース (保健師国家試験受験資格取得可)		看護学研究コース および保健師コース
助産師コース (助産師国家試験受験資格取得可)		看護学研究コース および助産師コース

<認定看護管理者の受験資格について>

本大学院に2年以上在学し、看護管理・教育学領域を含め30単位以上を修得した場合、修士(看護学)の学位が得られます。日本看護協会が定める受験資格を満たすことで、認定看護管理者認定審査受験資格を得ることができます。

VII 出願資格

出願資格は、一般選抜の出願資格と社会人選抜の出願資格があります。

1. 一般選抜の出願資格

次の条件①～⑨のいずれかに該当し、入学までに22歳に達する者。なお、保健師助産師看護師法に規定する「保健師」、「助産師」、「看護師」のいずれかの資格を取得(見込み者を含む)している者が望ましい。

- ① 大学を卒業した者、及び入学までに卒業見込みの者
- ② 学位授与機構又は大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者、及び入学までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、及び令和9年3月31日までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育の授業科目をわが国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、及び入学までに修了見込みの者
- ⑤ わが国において外国の大学の課程(外国の学校における16年の課程を修了したと

されるものに限る。)を有するものとして、当該外国の学校教育制度において、位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、及び入学までに修了見込みの者

- ⑥ 専修学校の専門課程(修学年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを、文部科学大臣が定める日以後に修了したもの、及び入学までに修了見込みの者
 - ⑦ 令和9年3月31日の段階で、大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得した者と認められた者
 - ⑧ 学校教育法第102条第2項の規定により、本研究科以外の大学院に入学した者であって、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
 - ⑨ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者(例えば、看護系、看護師の養成課程の短期大学(専攻科を含む)、専修学校、各種学校等の卒業生・修了者等大学卒業資格を有していない者であっても、看護師としての臨床経験1年以上を本研究科において個人の能力の個別審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者)
- ただし、出願資格⑨で出願しようとする者は資格審査を受ける必要があります。

2. 社会人選抜の出願資格

社会人選抜に出願することができる者は、前記の一般選抜の①～⑨のいずれかに該当し、通算1年以上(令和9年3月31日までの見込みを含む)の実務経験を有する者(注:実務経験とは保健師、助産師、又は看護師にいずれかの免許を取得したうえ、看護職として携わった経験のことをいう)とする。

なお、助産師コースは、女性のみ出願を可能とする。

3. 出願資格⑨で出願しようとする者の資格審査

1) 資格審査申請期間

【Ⅰ期】令和8年7月27日(月)～8月3日(月)必着

【Ⅱ期】令和8年11月2日(月)～11月9日(月)必着

【Ⅲ期】令和9年1月18日(月)～1月25日(月)必着

2) 申請書類(書類の作成は、Ⅶの4出願書類に準じること)

提出書類1及び2は、本学ホームページ「入試情報/入試概要/看護学研究科/出願書類」よりダウンロードし、A4サイズで印刷してください。

1 入学資格審査認定申請書	本学の所定様式(様式4)を本学ホームページよりダウンロードし、黒のボールペンを使用し本人が記入する、またはWord形式で直接入力し、印刷したものを提出してください。表面・裏面を別々の用紙に印刷し提出することも可能です。
2 志望理由書	本学の所定様式(様式2-1)を本学ホームページよりダウンロードし、黒のボールペンを使用し本人が記入する、またはWord形式で直接入力し、印刷したものを提出してください。

3 成績証明書	看護師、保健師又は助産師の免許を取得するために、卒業したすべての養成所等の成績証明書
4 卒業証明書または修了証明書	看護師、保健師又は助産師の免許を取得するために、卒業したすべての養成所等の卒業証明書または修了証明書
5 免許証の写し	看護師、保健師、助産師免許の写し

3) 資格審査に必要な提出書類の郵送方法

本学ホームページより「封筒貼り付け用宛名シート」をダウンロード・印刷し、市販の角2封筒に貼付してください。出願書類を封入し、申請期間内（締切日必着）簡易書留速達で郵送してください。

4) 審査結果日

【Ⅰ期】令和8年8月6日（木）郵送にて通知

【Ⅱ期】令和8年11月12日（木）郵送にて通知

【Ⅲ期】令和9年1月28日（木）郵送にて通知

5) 事前相談

出願を希望する者は、出願に先立ち、必ず志望する専門分野・領域の指導教員と面談し、入学後の研究・教育(履修内容等)について事前に相談することとします。事前相談の方法については、18～19 ページの別表1「教員指導体制」及び20P～22Pの別表2「指導教員の専門分野・領域と連絡先」を参照のうえお申し込みください。

なお、面談は出願までに済ませてください。

Ⅶ 出願手続

1. 出願期間

【Ⅰ期】令和8年8月17日（月）～8月26日（水）必着

【Ⅱ期】令和8年11月16日（月）～12月2日（水）必着

【Ⅲ期】令和9年2月1日（月）～2月18日（木）必着

2. 出願方法及び出願先

- 1) 志願者各自で用意した封筒の表に「看護学研究科出願書類在中」と朱書きし、4.で定められた「出願書類」を下記の提出先に簡易書留速達で郵送してください。
- 2) 出願期間内に到着しなかった場合は受理しません（出願期間内消印有効ではないので注意してください）。
- 3) 外国の高等教育機関で発行された卒業証明書等で、再発行ができない場合、コピーの提出を認めます。この場合、原本の送付は必要ありませんが、入学手続の際に原本を確認するので、その指示により提出してください。

3. 入学検定料

35,000円

4. 出願書類（一般選抜、社会人選抜共通）

<p>1 入学願書・ 自己経歴書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学の所定様式（様式 1-1）を本学ホームページよりダウンロードし、黒のボールペンを使用し本人が記入する、または Word 形式で直接入力し、印刷したものを提出してください。表面・裏面を別々の用紙に印刷し提出することも可能ですが、その際は左上をホッチキスでとめてください。 ・ 写真は、正面、上半身、無帽、背景なし、カラー、縦 4 cm×横 3 cm、出願 3 カ月以内に撮影したものを貼付してください。
<p>2 志望理由書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学の所定様式（様式 2-1）を本学ホームページよりダウンロードし、黒のボールペンを使用し本人が記入する、または Word 形式で直接入力し、印刷したものを提出してください。 ・ 出願資格⑨により出願する者で、個別の入学資格審査申請時に志望理由書を提出した者は、再提出の必要はありません。
<p>3 成績証明書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在籍または最終学歴の学校等の長が作成したもの。 ・ 出願資格③～⑧により出願する者は、修了した高等教育機関（大学相当）の成績証明書を提出してください。 ・ コピーの提出は認めません。 ・ ただし、外国の高等教育機関で発行された証明書で、再発行ができないものについてはコピーの提出を認めます。この場合、原本の送付は必要ありませんが、入学手続の際に原本を確認するので、その指示により提出してください。日本語訳も任意の様式で作成し、必ず添付してください。証明書に直接書き込まないでください。 ・ 出願資格⑨により出願する者で、個別の入学資格審査申請時に成績証明書等を提出した者は、再提出の必要はありません。
<p>4 卒業証明書 (卒業見込証明書)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在籍又は最終学歴の学校等の長が作成したもの。 ・ 出願資格②により出願する者は、資格を証明する書類を提出してください。 ・ 出願資格③～⑧により出願する者は、修了した高等教育機関（大学相当）の卒業証明書を提出してください。 ・ コピーの提出は認めません。ただし、外国の高等教育機関で発行された証明書で、再発行ができないものについてはコピーの提出を認めます。この場合、原本の送付は必要ありませんが、入学手続の際に原本を確認するので、その指示により提出してください。日本語訳も任意の様式で作成し、必ず添付してください。証明書に直接書き込まないでください。 ・ 出願資格⑨により出願する者で、個別の入学資格審査申請時に卒業証明書等を提出した者は、再提出の必要はありません。

次頁に続く

5 免許証の写し ※ 免許取得者のみ 提出	保健師、助産師、看護師の免許証の写しを提出してください。 出願資格⑨により出願する者で、個別の入学資格審査申請時に免許証等を提出した者は、再提出の必要はありません。
6 入学資格認定 通知書	出願資格⑨により出願する者は提出してください。
7 入学検定料等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学検定料 35,000 円を下記口座に振り込んでください。 ・ 振込手数料は志願者本人の負担となります。 ・ 振込後に金融機関から受け取った「振込金受取書（証明書）等」を他の書類と一緒に提出してください。コピーの提出も可能です。 <p><振込先> 十六銀行 本店営業部 普通預金 口座番号 2 3 3 5 8 2 5 受取人 学校法人豊田学園（ガク）トヨタガクエン 住所 岐阜県岐阜市東鶉 2-9 2 電話番号 0 5 8 - 2 7 4 - 5 0 0 1</p>

注1) 志望するコースから1つを選択して出願してください。看護学研究コースを志望する方は、分野・領域を1つ選択して出願してください。

注2) 卒業証明書、成績証明書に記載された氏名と現在の氏名が異なる場合は、戸籍抄本など改氏名したことを証明できる書類をあわせて提出してください。

注3) 在職のまま就学を希望する方は、勤務先とのトラブルが生じないように十分配慮してください。出願時に就学承認書を必要としませんが、合格して入学手続きをする際には、書類の提出を求めます。

注4) 一旦納入された入学検定料は返還できません。

注5) 提出された出願書類は、理由のいかんに関わらず返却しません。

5. 身体に障がいをもつ入学志願者の事前相談

身体に障がいをもつ方で、受験時や入学後の学修に際して、特別の対応や配慮を希望する者は、出願前に必ず入試広報課（TEL058-274-5001）に相談してください。

【出願書類、入学資格審査申請書類の提出先、入試に関するお問い合わせ先】

〒500-8281 岐阜県岐阜市東鶉2丁目92番地 日本保健大学 入試広報課
TEL 058-274-5001 FAX 058-274-5260 (令和9年4月「岐阜保健大学」より名称変更)
E-mail koho@gifuhoken.ac.jp URL <https://www.gifuhoken.ac.jp>

Ⅸ 入学試験日と選考方法

1. 入学試験日

【Ⅰ期】令和8年8月30日（日）

【Ⅱ期】令和8年12月6日（日）

【Ⅲ期】令和9年2月21日（日）

2. 試験時間と選考方法

項 目	選考方法	
	一般選抜	社会人選抜
受付開始	8:20	9:50
入室完了時間	8:40	10:10
試験時間 9:00～10:00 (60分)	小論文（英文読解含む） ※ 英和辞典1冊持ち込み可。 ただし、医学専門辞書並びに電子辞書機器類は持ち込み不可。 配点 50点満点	/
試験時間 10:30～11:30 (60分)	専門科目 ※ 看護専門科目を解答する。 記述式 配点 100点満点	専門科目 ※ 看護専門科目を解答する。 記述式 配点 100点満点
試験時間 11:50～ (20分)	口述試験 ※ これまでの研究の概要、今後の方向性を15分以内で口頭発表。その後、質疑応答を行う。 資料の配付等は可能。 配点 100点満点	口述試験 ※ これまでの研究の概要、今後の方向性を15分以内で口頭発表。その後、質疑応答を行う。 資料の配付等は可能。 配点 100点満点
合計	250点満点	200点満点

3. 試験場

岐阜保健大学 岐阜県岐阜市東鶉2丁目92番地

（令和9年4月「日本保健大学」へ名称変更）

4. 合格発表

1) 合格発表日

【Ⅰ期】令和8年9月4日（金）

【Ⅱ期】令和8年12月11日（金）

【Ⅲ期】令和9年2月25日（木）

2) 合格発表の方法

合格発表日の午前10時に本学ホームページ「新着情報」にて、合格者の受験番号を掲載します。また、合格者には入試結果通知書を郵送します。不合格者には郵送による通知は行いません。

X 入学手続

合格者には、入試結果通知の際に入学手続書類等を送付します。

1. 入学手続期限

本学所定の振込依頼書を用い、各コースの定める「入学時納入金」を下記期限までに納付し、合格者に送付する入学手続案内により入学手続書類を入試広報課に郵送してください。

【Ⅰ期】令和8年9月14日（月）

【Ⅱ期】令和8年12月21日（月）

【Ⅲ期】令和9年3月5日（金）

2. 学費納入について

【入学時納入金】

	看護学 研究コース	保健師コース	助産師コース
入学金	200,000 円	200,000 円	200,000 円
授業料（1 年次前期分）	300,000 円	350,000 円	350,000 円
施設設備費（1 年次前期分）	100,000 円	100,000 円	100,000 円
教育充実費（1 年次前期分）	－	50,000 円	150,000 円
入学時納入金 合計	600,000 円	700,000 円	800,000 円

- ※ 本学園の卒業生は、入学金が免除となります。
- ※ 入学手続時に、抗体検査料、総合補償制度保険料（2 年分）、学生証発行代金、ICT 教材費、実習記録表、学内外研究活動費等として 95,000 円が必要となります。
- ※ 詳細は合格者に送付する「入学手続要項」にて確認をしてください。その他、教科書、実習服、パソコン等の費用が必要となります。

3. 学生納付金について（1年次、2年次）

【看護学研究コース】

費目	1年次前期分	1年次後期分	2年次前期分	2年次後期分
入学金	200,000円	—	—	—
授業料	300,000円	300,000円	300,000円	300,000円
施設設備費	100,000円	100,000円	100,000円	100,000円
教育充実費	—	—	—	—
納付金合計	600,000円	400,000円	400,000円	400,000円

【保健師コース】

費目	1年次前期分	1年次後期分	2年次前期分	2年次後期分
入学金	200,000円	—	—	—
授業料	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円
施設設備費	100,000円	100,000円	100,000円	100,000円
教育充実費	50,000円	50,000円	50,000円	50,000円
納付金合計	700,000円	500,000円	500,000円	500,000円

【助産師コース】

費目	1年次前期分	1年次後期分	2年次前期分	2年次後期分
入学金	200,000円	—	—	—
授業料	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円
施設設備費	100,000円	100,000円	100,000円	100,000円
教育充実費	150,000円	150,000円	150,000円	150,000円
納付金合計	800,000円	600,000円	600,000円	600,000円

3. 入学辞退について

一旦納入された「入学時納入金」は原則として返還しません。ただし、大学院入試の入学手続完了者が令和9年3月31日(水)午後5時(必着)までに「入学辞退届」を本学に提出し、これが許可された場合には、納付された入学金を除く入学時納入金を返還します(入学辞退届は連絡確認後に用紙を郵送します。また、返金に関する振込手数料は本人負担とします)。指定した日時までに入学辞退手続きを完了しなかった場合は、入学時納入金は一切返還されません。

なお、新年度開講の都合上、入学辞退のお申し出は、可能な限り令和9年3月19日(金)までにご連絡をいただきますようお願いいたします。

XI 長期履修制度

学生が職業を有している等の事情により、標準修学年限を超えて一定期間にわたり、計画的に教育課程を履修し、修了することを希望する場合に、その計画的な履修を認める制度で、仕事などとの両立を図りながら修了を目指すことができます。

ただし、在学中に授業料の改定がある場合には再計算されることとなります。なお、長期履修を認められた学生が、長期履修期間の短縮を願い出ることもできます。

1. 申請資格

有職者（正規雇用者に限らず、主としてその収入で生計を立てている者）、出産、育児、介護、その他 やむを得ない事情を有する者

2. 申請期限

入学後のオリエンテーションで説明し、申請を受け付けます。

3. 申請場所

本学 事務局学事課

4. 長期履修期間及び在学可能期間

	標準修学年限	長期履修期間	在学可能期間
修士課程	2年	3年	4年 (標準修学年限×2)

注1) 在学可能期間の範囲内で、1年単位で長期履修期間を定めることができます。

注2) 休学の期間は、上記期間に含まれません。

注3) 長期履修の有無にかかわらず、在学可能期間内に修了することができない場合には除籍の対象となります。

5. 申請書類

1) 長期履修申請書（所定様式）

2) 申請資格を証明する文書

職業を有する者については、在職証明書又は、それに代わるものなど。育児・介護等を行う者については、当該事由を証明する文書「診断書」など

6. 学生納付金

長期履修学生の学生納付金の年額については、標準修学年限に相当する年数を乗じた額を、長期在学期間の年数で除した額となります。

(3年間の長期履修期間を申請し許可された場合の学生納付金の例)

【看護学研究コース（2年間通常の学生納付金合計：1,800,000円）】

	初年度	2年目	3年目	
入学金	200,000円	—	—	
授業料	400,000円	400,000円	400,000円	
施設設備費	134,000円	133,000円	133,000円	
教育充実費	—	—	—	3年間合計
納付金合計	734,000円	533,000円	533,000円	1,800,000円

【保健師コース（2年間通常の学生納付金合計：2,200,000円）】

	初年度	2年目	3年目	
入学金	200,000円	—	—	
授業料	467,000円	467,000円	466,000円	
施設設備費	134,000円	133,000円	133,000円	
教育充実費	67,000円	67,000円	66,000円	3年間合計
納付金合計	868,000円	667,000円	665,000円	2,200,000円

【助産師コース（2年間通常の学生納付金合計：2,600,000円）】

	初年度	2年目	3年目	
入学金	200,000円	—	—	
授業料	467,000円	467,000円	466,000円	
施設設備費	134,000円	133,000円	133,000円	
教育充実費	200,000円	200,000円	200,000円	3年間合計
納付金合計	1,001,000円	800,000円	799,000円	2,600,000円

XII 受験に関する注意事項

1. 受験票

- ・受験票が試験実施日2日前までに到着しない場合は、入試広報課（058-274-5001）まで問い合わせてください。
- ・受験票が到着したら、受験番号の記載を確認してください。
- ・受験票は受験の当日に必ず持参し、合格発表・入学手続まで大切に保管してください。
- ・本学より志願者に、郵送による受験票の返送が間に合わない場合には出願を受理した旨を電話にて連絡します。受験票は試験当日、試験場の受付で渡します。

2. 試験場への入場

- ・受験票を提示して入場してください。
- ・受験票を忘れた場合は、係員にその旨を申し出てください。
- ・受験番号により指定された席につき、受験票を机上においてください。

3. 受付及び入室完了時刻

- ・試験日当日は8時00分に開場します。
- ・一般選抜にて受験する方は、受付を8時20分から開始します。8時40分までに試験室に入室してください。
- ・社会人選抜にて受験する方は、受付を9時50分から開始します。10時10分までに試験室に入室してください。
- ・遅刻については試験開始後20分以上遅刻した場合は受験できません。ただし、天候不順による交通機関の遅延、交通機関の事故などでやむを得ず定刻までに試験場に到着できない場合は、入試広報課（TEL058-274-5001）まで連絡をして指示を受けてください。その他の理由で遅れる場合も、入試広報課まで連絡をして指示を受けてください。

4. 持ち物等

- ・受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、HBまたはBの黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計、メガネ、ハンカチ、ティッシュペーパー、目薬です。なお、端末機能のある時計は使用できません。
- ・学内は上履きが必要となります。上履きと靴を入れる袋を持参してください。
- ・昼食が必要な場合は各自用意してください。

5. 交通手段について

- ・自家用車で来学の場合は、17Pの駐車場案内をご覧のうえ駐車してください。
- ・路線バス（岐阜バス）で来学する場合は、岐阜バスのホームページ（岐阜バス Navi）で運行時刻を確認してください。

6. その他

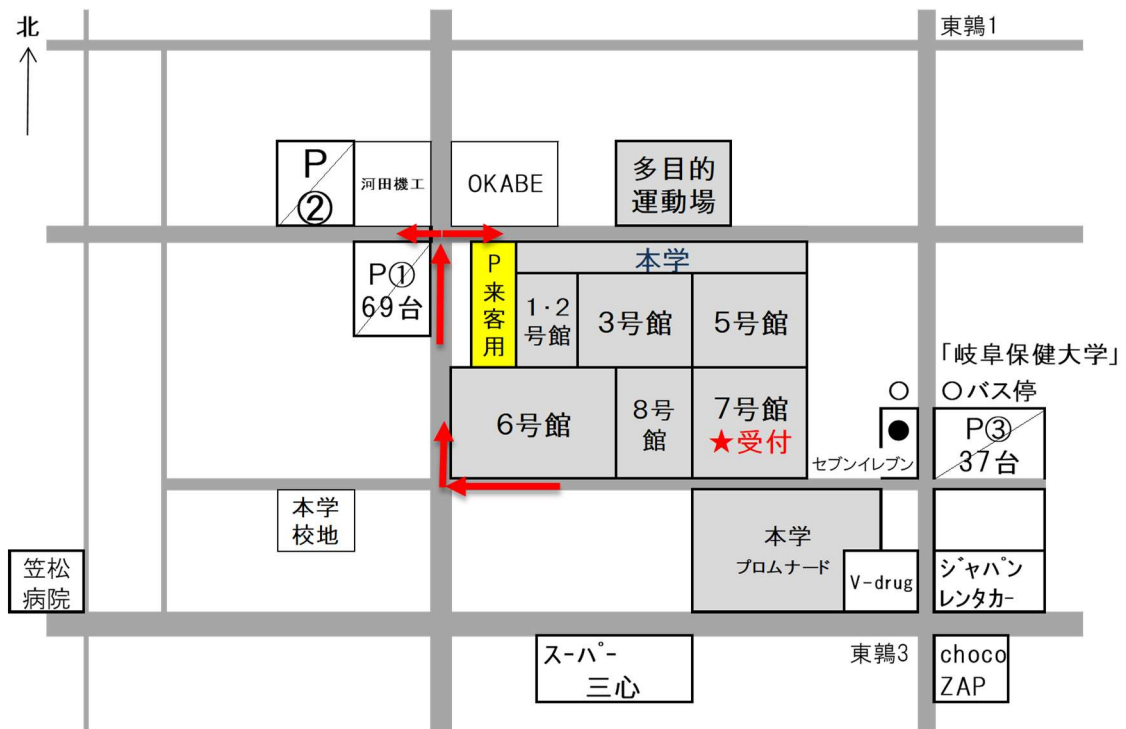
- ・試験室では、携帯電話などの電子機器類は、必ずアラームの設定を解除し、電源を切ったうえでカバンにしまってください。
- ・不明な点、忘れ物などがあれば、係員に申し出てください。
- ・入学試験の当日に天候不順による警報等が発令された場合、本学ホームページにて、対応方法を告知します。

日本保健大学（本学） 駐車場・駐輪場・路線バス案内

（令和9年4月「岐阜保健大学」より校名変更。バス停・看板は「岐阜保健大学」の表記となっております。）

■自家用車でご来学の場合

自家用車でご来場の方は、下記の駐車場のうち P 来客用をご利用下さい。P 来客用は砂利の駐車場となり、入試当日は開放しておりますのでご自由に入出入りすることができます。



■自転車で来学の場合

自転車でご来場の方は、7号館正面玄関付近に駐輪スペースを設置いたします。来場した際に、スタッフへお声掛けください。

■公共交通機関で来学の場合

- ・名鉄岐阜駅で下車し、エスカレータまたは階段で1階に降り②番のりばより「岐阜保健大学行」に乗車する。岐阜保健大学（終点）で下車、徒歩1分。
- ・JR岐阜駅で下車し、エスカレータまたは階段で1階に降り④番のりばより「岐阜保健大学行」に乗車する。岐阜保健大学（終点）で下車、徒歩1分。

■タクシーで来学の場合

名鉄岐阜駅またはJR岐阜駅で下車しエスカレータまたは階段で1階に降りタクシーのりばより乗車。乗車時間約10分。

別表1 教員指導体制（令和8年度）

■看護学専攻

看護学研究特論	教 授 藤原奈佳子	教 授 鈴木岸子	
看護学研究方法特論	教 授 藤原奈佳子	教 授 鈴木岸子	
看護教育特論	教 授 柿原加代子		
看護政策特論	教 授 藤原奈佳子	教 授 石井英子	
看護倫理特論	教 授 茅喜田恵子		
看護理論特論	教 授 箭野育子	教 授 柿原加代子	
	教 授 鈴木岸子		
看護管理学特論	教 授 永坂和子	教 授 野田みや子	
家族看護特論	教 授 野田みや子	教 授 栗津昌枝	
ケアサイエンス	教 授 藤原奈佳子	教 授 石井英子	教 授 柿原加代子
	教 授 野田みや子	教 授 鈴木岸子	教 授 小萱康德
	教 授 藤丸郁代	教 授 鈴木啓介	講 師 藤井稚也
多文化共生特論	教 授 高久道子		
コンサルテーション特論	教 授 茅喜田恵子		
国際保健・災害看護論	教 授 高久道子	教 授 野田みや子	教 授 藤丸郁代
保健統計学特論	教 授 藤原奈佳子		
フィジカルアセスメント	教 授 河田美紀	教 授 箭野育子	
臨床薬理学特論	教 授 小萱康德		
英語抄録の書き方	教 授 高久道子		
病態生理学特論	教 授 永井博弐	教 授 河田美紀	教 授 河田好泰

■看護学研究コース 広域看護学領域

看護学教育	教 授 柿原加代子	准教授 可知久美子	
看護保健管理	教 授 藤原奈佳子	教 授 永坂和子	教 授 野田みや子
地域在宅看護学	教 授 栃本千鶴	教 授 栗津昌枝	
精神看護学	教 授 茅喜田恵子		

■看護学研究コース 実践看護学領域

成人看護学	教 授 永坂和子		
小児看護学	教 授 野田みや子	非常勤講師 近藤邦代	
母性・助産学	教 授 野田みや子	准教授 石田美知	准教授 村瀬ゆかり
	講 師 清水ゆかり		
データサイエンス	教 授 小萱康德	教 授 高久道子	教 授 藤丸郁代

■保健師コース

公衆衛生看護学	教 授 栃本千鶴	教 授 石井英子	教 授 藤丸郁代
	教 授 栗津昌枝		
疫学	教 授 藤原奈佳子		
保健統計学	准教授 高久道子		
保健医療福祉行政システム論	教 授 栗津昌枝	教 授 藤丸郁代	教 授 石井英子
臨地実習	教 授 栃本千鶴	教 授 石井英子	教 授 藤丸郁代

■助産師コース

基礎助産学	教 授 野田みや子	教 授 太田美智男	教 授 小萱康德
	教 授 河田美紀	教 授 永井博弐	教 授 近藤直実
助産診断・技術学	教 授 野田みや子	准教授 石田美知	講 師 清水ゆかり
	准教授 村瀬ゆかり		
地域・国際母子保健学	教 授 野田みや子	教 授 高久道子	
助産管理	教 授 野田みや子	准教授 石田美知	准教授 村瀬ゆかり
	講 師 清水ゆかり		
臨地実習・助産学実習	教 授 野田みや子	准教授 村瀬ゆかり	准教授 石田美知
	講 師 清水ゆかり		

別表2 指導教員の専門分野・領域と連絡先

大学院の受験を希望される方は、教育研究領域と指導教員を指定してください。下記に示す教員が特別研究、課題研究を担当する指導教員です。出願前に、教員のメールアドレスまたは入試広報課（TEL058-2574-5001）に連絡して、研究・教育（履修内容等）について事前に相談してください。

■ 看護学研究コース

指導教員	教育研究領域・研究テーマ
学長 河田 美紀 (Miki Kawada) 教授 学位：博士 (医学) e-mail:koho@gifuhoken.ac.jp (入試広報課を通してください)	研究テーマ： 1) 高齢者の呼吸器系の疾患と治療との関連 2) 予後からみた肺がん検診の意義に関わる基礎研究 研究方法：理論的及び実験的研究
研究科長 石井 英子 (Hideko Ishii) 副学長・教授 学位：修士 (学術) 公衆衛生看護学 e-mail:h-ishii@gifuhoken.ac.jp	研究テーマ： 1) 外国人の結核状況の分析 2) ダブルケアにおける保健師の役割 3) ALSを支えるケアシステム支援に関する研究 研究方法：質的・量的研究
副研究科長 藤原 奈佳子 (Nakako Fujiwara) 教授 学位：博士 (医学) e-mail: n-fujiwara@gifuhoken.ac.jp	研究テーマ： 1) 地域における保健・医療・福祉を包含する社会資源の効果的なマネジメントに関する研究 2) 保健・医療・福祉をつなぐ健康増進に関する研究 3) 多職種連携と協働に関する研究 研究方法：質的・量的研究
永井 博弼 (Hiroichi Nagai) 顧問・教授 学位：博士 (薬学) e-mail:h-nagai@gifuhoken.ac.jp	研究テーマ： 1) アレルギー疾患の発症機序と予防・ケアに関する基礎的研究 2) アレルギー疾患治療薬の開発・適正使用に関する基礎的研究 3) 免疫学を基礎とした予防医学に関する研究 研究方法：質的・量的研究
小萱 康徳 (Yasutoku Kogaya) 教授 学位：博士 (歯学) e-mail:y-kogaya@gifuhoken.ac.jp	研究テーマ： 1) 看護の視点からみた人体構造機能学 2) フィジカルアセスメントに対する人体構造機能学の教育効果 3) 様々な硬組織形成細胞のカルシウム制御機構の違いと脊椎動物の系統進化 研究方法： 1) 質的・量的研究 2) 文献的、理論的及び実験的研究
茅喜田 恵子 (Keiko Takita) 教授 学位：修士 (社会福祉学) e-mail:k-takita@gifuhoken.ac.jp	研究テーマ： 1) 精神障害をもつ当事者および家族の支援 2) 看護職のメンタルヘルス 3) 看護におけるグループアプローチ 4) 精神看護学の教育研究 研究方法：質的研究
鈴木 岸子 (Kishiko Suzuki) 教授 学位：博士 (看護学) e-mail: kishiko-suzuki@gifuhoken.ac.jp	研究テーマ： 1) 家族介護者の介護負担に関する研究 2) 介護予防・日常生活支援総合事業に関連する研究 3) 認知症の方への意思決定支援に関する研究 研究方法：量的研究

<p>栃本 千鶴 (Chizuru Tochimoto)</p> <p>教授 学位：博士 (学術)</p> <p>在宅看護学・公衆衛生看護学</p> <p>e-mail:c-tochimoto@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>研究テーマ：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 腸内フローラ医学研究と融合した看護の研究 2) 地域住民の自助・互助のリテラシーによる在宅療養継続支援 3) 地域住民へのセルフコントロール介入研究 <p>研究方法：量的研究による要因分析・準実験による介入研究</p>
<p>野田 みや子 (Miyako Noda)</p> <p>教授 学位：博士 (心身健康科学)</p> <p>e-mail:m-noda@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>研究テーマ：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 妊産婦の抑うつと運動との関連に関する研究 2) 医療職の職務ストレスとそのサポート体制 3) 福島原発から学ぶ災害への助産師としての役割 4) 小児の虐待に関する研究 <p>研究方法：質的・量的研究</p>
<p>永坂 和子 (Kazuko Nagasaka)</p> <p>教授 学位：修士 (医療・福祉マネジメント)</p> <p>e-mail:k-nagasaka@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>研究テーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ケアミックス病院におけるマネジメントに関する研究、機能分化に対応した看護管理の構築 2) 地域在住要支援・要介護高齢者における排尿ケアのエビデンス構築に関する研究、病院・在宅間の排泄ケアに関する情報連携 <p>研究方法：質的・量的研究</p>
<p>栗津 昌枝 (Masae Awazu)</p> <p>教授 学位：修士 (医療・福祉マネジメント)</p> <p>e-mail:m-awazu@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>研究テーマ：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 自治体保健師のキャリア形成に関する研究 2) 親子の絵本の読み聞かせと育児行動や児の精神発達に及ぼす影響の研究 <p>研究方法：質的・量的研究</p>
<p>柿原 加代子 (Kayoko Kakihara)</p> <p>教授 学位：修士 (福祉マネジメント)</p> <p>e-mail:k-kakihara@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>研究テーマ：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ケアリング理論に関する研究 2) 看護師の生涯学習 NBL (Nursing Based Learning) に関する研究 <p>研究方法：質的・量的研究</p>
<p>藤丸 郁代 (Ikuyo Fujimaru)</p> <p>教授 学位：博士 (生命医科学)</p> <p>e-mail:fujimaru@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>研究テーマ：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ヤングケアラーに関する研究 2) 大学生や地域住民の生活習慣に関する研究 <p>研究方法：量的研究</p>
<p>箭野 育子 (Ikuko Yano)</p> <p>教授 学位：博士 (医学)</p>	<p>令和9年4月就任予定</p>
<p>高久 道子 (Michiko Takaku)</p> <p>教授 学位：博士 (看護学)</p> <p>e-mail:m-takaku@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>研究テーマ：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) HIV 感染症の予防 2) 在日外国人の健康課題に関する研究 <p>研究方法：量的研究</p>
<p>石田 美知 (Michi Ishida)</p> <p>准教授 学位：修士 (人間文化)</p> <p>e-mail:k-ishida@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>研究テーマ：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護学生の死生観、産後ケアに関する研究 2) 子育て支援、ジェンダーに関する研究 <p>研究方法：質的研究</p>
<p>村瀬 ゆかり (Yukari Murase)</p> <p>准教授 学位：修士 (看護学)</p> <p>e-mail:y-murase@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>研究テーマ：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 産褥早期の母乳不足感、母乳育児支援に関する研究 <p>研究方法：質的・量的研究</p>

※ 学長への連絡は、入試広報課 (koho@gifuhoken.ac.jp) を通して行います。

■ 保健師コース

<p>栃本 千鶴 (Chizuru Tochimoto)</p> <p>教授 学位：博士 (学術)</p> <p>在宅看護学・公衆衛生看護学</p> <p>e-mail:c-tochimoto@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>研究テーマ：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 腸内フローラ医学研究と融合した看護の研究 2) 地域住民の自助・互助のリテラシーによる在宅療養継続支援 3) 地域住民へのセルフコントロール介入研究 <p>研究方法：量的研究による要因分析・準実験による介入研究</p>
<p>石井 英子 (Hideko Ishii)</p> <p>副学長・教授 学位：修士 (学術)</p> <p>公衆衛生看護学</p> <p>e-mail:h-ishii@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>研究テーマ：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 外国人の結核状況の分析 2) ダブルケアにおける保健師の役割 3) ALSを支えるケアシステム支援に関する研究 <p>研究方法：質的・量的研究</p>
<p>藤丸 郁代 (Ikuyo Fujimaru)</p> <p>教授 学位：博士 (生命医科学)</p> <p>e-mail:fujimaru@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>研究テーマ：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ヤングケアラーに関する研究 2) 大学生や地域住民の生活習慣に関する研究 <p>研究方法：量的研究</p>
<p>粟津 昌枝 (Masae Awazu)</p> <p>教授</p> <p>学位：修士 (医療・福祉マネジメント)</p> <p>e-mail:m-awazu@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>研究テーマ：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 自治体保健師のキャリア形成に関する研究 2) 親子の絵本の読み聞かせと育児行動や児の精神発達に及ぼす影響の研究 <p>研究方法：質的・量的研究</p>

■ 助産師コース

<p>野田 みや子 (Miyako Noda)</p> <p>教授 学位：博士 (心身健康科学)</p> <p>助産学・小児看護学</p> <p>e-mail:m-noda@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>研究テーマ：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 妊産婦のストレスコーピングに関する研究 2) 医療職の職務ストレスとそのサポート体制 3) 福島原発から学ぶ災害への助産師として役割 4) 妊産婦の抑うつに関する研究 5) マタニティ・ヨガと妊産婦の心身の健康との関連に関する研究 <p>研究方法：質的・量的研究</p>
<p>石田 美知 (Michi Ishida)</p> <p>准教授 学位：修士 (人間文化)</p> <p>e-mail:k-ishida@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>研究テーマ：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護学生の死生観、産後ケアに関する研究 2) 子育て支援、ジェンダーに関する研究 <p>研究方法：質的研究</p>
<p>村瀬 ゆかり (Yukari Murase)</p> <p>准教授 学位：修士 (看護学)</p> <p>e-mail:y-murase@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>研究テーマ：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 産褥早期の母乳不足感、母乳育児支援に関する研究 <p>研究方法：質的・量的研究</p>
<p>清水 ゆかり (Yukari Shimizu)</p> <p>講師 学位：修士 (看護学)</p> <p>e-mail:y-shimizu@gifuhoken.ac.jp</p>	<p>研究テーマ：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 包括的性教育に関する研究 2) プレコンセプションケアに関する研究